

## 健康便り

令和3年6月  
No 536

「特定検診、がん検診を受けましょう」

会長 水口 美智子

一雨毎に山々は深いみどりに包まれて、しっとりと呼んで  
いるかのように感じます。

春は百花あり、夏に涼風あり、秋に月あり、冬に雪あり。  
春には花が咲き、散つたら夏が、そして涼風と想っている内  
に秋、そして月を見る。また冬が来て雪を見る。自然と共に  
生きて無心になるように、と、見つけたすてきな言葉でした。

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の中、昨年よりほ  
とんどの行事が中止となり、愛育委員会も 四月より加入さ  
れた新任委員との顔合せも出来ずにいる状態です。梅雨明け  
と共に、ステイホームより早く解放されますようにと祈りま  
す。

胃がん検診が近づいています。

七月二日(金) 七時~九時 岡北中学校体育館前

六月二十一日 さんさん育児相談 中止

「多文化共生社会を目指して」

夜間事務 江見 優子

私事ですが、二〇〇九年からネパールと岡山をつなぐ民間  
交流の活動をしています。ある時期にネパールの人をよく目  
にするようになり、どうして日本しかも岡山で暮らしている  
のだらうと思ったのがそもその始まりです。

ネパールは、北を中国南をインドに挟まれた、ヒマラヤを  
望む国です。ネパールという大抵「アジア最貧国のひとつ」  
という形容詞がつくことが多いのですが、住んでいる場所や  
ルーツの違いによって話す言葉も習慣も教育事情も違い、果  
ては生活水準まで違います。

彼らが日本に滞在しているステータスは、留学であったり  
就労(コック)であったりするわけですが、最近多いのが、  
子どもを呼び寄せたり 若い夫婦が日本で出産 育児をする  
ケースです。日本人にもわかりにくい行政手続きのほどき  
や、学習支援をする場面も増えました。

今後は、外国にルーツのある若者と一緒に、岡山という地  
域社会で多文化共生のまちづくりができたらと考えていま  
す。

- ・ 赤ちゃんを母乳で育て、子育て支援をしましょう。
- ・ 生活習慣病の予防に努め、健康寿命をのばしましょう。
- ・ 全ての健康診査(検診)を受けようようにすすめましょう。
- ・ ふれあい活動をしましょう。

「大切なこと」

三フロック 愛育委員

御野学区愛育委員会

会長

水口 美智子

岡山市中央保健

センター

保健師

家山 圭子

コロナで皆さん、心をいためている事でしょう。子どもた  
ちは、不安な気持ちを抱えていると思います。大人たち、子  
どものお手本となすべき人が、びつくりする様なことをして  
報道されています。(大阪池田市の住人)

子どもたちの成長に必要な大人の姿勢・役割を、今一度考  
えようではありませんか。

子どもは大人に、大人は子どもに、互いに支えられて暮ら  
しています。自分の正しい考えを適切に判断して行動できる  
力を、大人も子どももつけましょう。イエス・ノーが言える  
ように！

「保健師より一言」

『今年度の各種検診(健診)がはじまりました』

家山 圭子

新型コロナウイルス感染症の話題が続く日々ですが、岡山  
市では、医療機関での各種検診(健診)、検診車による集団検  
診がはじまっています。そして、三人に一人ががんで亡くな  
っています。岡山市民の死因の第一位はがんであり、約三割  
を占めます。けんしんは、定期的に体の状態を確認する、病  
気の早期発見の大切な機会です。職場等で受ける機会がなく  
対象となられる方はぜひご利用ください。詳細については、  
各家庭に配布される「岡山市保健所からのお知らせ」・「けん  
しんガイド」をご覧ください。

※新型コロナウイルス感染症の状況により、けんしんの受け  
入れ数を少なくしたり、中止する医療機関があります。予約  
時にご確認ください。受診の際は、実施医療機関の指示に従  
い、感染症予防対策をとり、受診してください。

問い合わせ先

・けんしん専用ダイヤル

電話(086) 803・1202

・岡山市保健所健康づくり課

北区中央保健センター

電話(086) 803・1265